

令和6年度不祥事ゼロプログラムの検証等

取組課題		目標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。(管理職)	常に教育公務員として自覚を促すように朝打ち合わせなどに、発生事案などを管理職から報告し、自分事として捉え考えて行動する姿勢の醸成を行った。
2	わいせつ・セクハラ行為及びパワハラの防止	わいせつや、セクハラ行為やパワハラの発生を未然に防止する。 (生徒支援G)	パワハラやセクハラの定義をしっかりと把握し、相手の気持ちを考えて行動できるように意識の啓発を行った。また、アンケートで確認を行った。
3	体罰、不適切な指導の防止	日常の教育活動において、生徒の人権に十分配慮した指導を行う。 (生活指導G)	人権研修を通して人権意識を高め、日頃の教育活動について生徒の人権を守ることが大切なことを改めて確認を行った。また、アンケートを通じ体罰や不適切な指導がないか確認を行った。
4	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、履修指導・登録・成績処理等、調査書等のミスを未然に防止する。 (学習支援G 進路支援G・広報・渉外G)	入学者業務でマニュアルを再点検し、職員全員での読み合わせを通じ、業務の理解と意思統一を図った。その結果ミスのない入選業務を行うことができた。
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。 (管理運営G)	改めて、情報管理規則を再確認し、ルール通りの保管や使用について確認を行った。
6	交通事故防止、酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員として、交通法規を遵守する、(管理職)	管理職より、啓発資料を使い、交通事故や酒気帯び運転等の防止の徹底を図った。
7	会計事務等の適正執行	適正な私費の徴収・執行を行う。 (管理職及び事務長)	会計業務の流れを考えて、会計業務の一元管理を行いミスのない業務ができている。今後、会計業務担当だけでなく、全員が会計業務のルールを十分理解している状態を作りたい。
8	職場のハラスメントの防止	風通しのよい職場環境の構築を目指す。 (衛生委員会)	衛生委員会として、職場環境を確認し、風通しの良い職場や業務がしやすい環境を目指したが、今後も具体的に職場環境の改善を行っていく

○令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取組むべき課題（学校長意見）

今年度は生徒の人権を尊重する姿勢の醸成に重点を置いてきた。多くの生徒が一緒に活動をする学校現場において、生徒一人ひとりの抱えている悩みや課題に対して真摯に対応することを心掛けた。今後も人権を守る教育活動を継続して実施していくよう努める。